

立憲おおいた 未来セミナー

第1回「立憲おおいた未来セミナー」（12月11日開催）では、立憲民主党幹事長・安住淳さんより「立憲民主党とは、立憲民主党がめざしている政治」についてご講演いただきました。また、吉田ただとも参議院議員（県連代表）、吉川はじめ衆議院議員（代表代行）とも意見交換を行いました。国会情勢がめまぐるしく変化する中、立憲民主党が何を重視し、どのような姿勢で政治に向き合うのかを明確に示す内容となりました。

■ 立憲民主党の立ち位置

安住さんは冒頭、立憲民主党が「現実的で、責任ある中道リベラル」であると位置づけました。単なる“反対のための反対”ではなく、国民生活の負担を軽減し、自由と人権、立憲主義を守るための政策を着実に提示していくことが党の使命であると強調しました。特に「立憲主義・法の支配の再建」「格差是正と生活者の負担軽減」「教育・医療・子育てを重視する社会の実現」「弱い立場の人に寄り添う政治」といった基本姿勢を改めて鮮明にし、「国民の声に最も近い政党として歩み続ける」と語りました。



■ 国民の政治不信にどう向き合うか

近年の政治不信の拡大について安住さんは、「政治の透明性こそ信頼回復の鍵」と指摘しました。「政治が誠実であることが前提であり、立憲民主党はそこにこだわり続ける」との言葉に、会場からは深い共感が寄せられました。

■ 今後の展望 — 社会を前に進めるために

安住さんは、今後の展望として次の課題に重点的に取り組むと述べました。

1. 生活に直結する政策の強化

物価高対策、地方経済の再生、所得の底上げなど“生活者の安心”を軸とした政策を推進。

2. 自治体との連携強化

地域課題の解決には地方と国の協働が不可欠であり、県連・総支部との連携をより強めていく。

3. 若い世代との対話の拡大

若者が政治参加しやすい場づくりを進め、意見を政策に反映する新しい仕組みづくりをめざす。

4. 現実的な安全保障政策

理念と現実の両面に向き合い、抑止・外交・国際協調を含めた総合的な安全保障政策を構築する。

「国民の暮らしを守ること。そのために政治がある」という強い姿勢が示されました。

■ おわりに

今回の講演を通じ、党员・サポーターの皆さまとともに、立憲民主党が進む方向を共有できる貴重な機会となりました。これからも県連として、党の理念と政策を分かりやすく発信し、地域の皆さまとともに歩んでまいります。

第2回

2026年 1月17日(土)

15:00~16:30

次回予告

「政治って何だろう？」

～「暮らし」と「政治」をゼロから考える～

講師：稲垣 えみ子 さん

(ジャーナリスト・コラムニスト)

元 朝日新聞論説委員・編集委員



佐賀関大規模火災への支援活動

各支部で募金活動を行うなど、積極的な支援活動を展開しています。

また、12月6日には、立憲民主党・野田佳彦代表が来県し、吉田代表をはじめ県連役員とともに被災された皆さんの声をお聞きました。

